

みやのうえ保育園整備事業について

1 認定こども園の方向性について

(1) 認定こども園の類型について

湯河原町の認定こども園については、保育所型、幼保連携型で議論を進めてきました。職員の配置基準等若干異なりますが、どちらの類型であっても、3歳児以上の幼稚園機能は就労の有無を問わず入園できることなど、保護者から見た認定こども園のメリットにおいて大きな違いはありません。

(2) 工事費について

耐火基準につきましては、保育所型は準耐火建築物も可とされており、保育所も同様で、現在コストが抑えられる準耐火建築物として設計されております。幼保連携型にした場合は、耐火建築物として設計をし直す必要もあることから、工事費についても増額が見込まれます。

(3) 財源について ※総事業費6億円で試算

① 保育所型認定こども園

	国庫	起債	実質負担額
保育園機能	施設整備事業（一般財源化分） 充当率 100% 交付税措置 70%	社会福祉施設整備事業 充当率 80% 交付税措置なし	392,295 千円
幼稚園機能	なし	こども・子育て支援事業債 ※ 充当率 90% 交付税措置 30%	

※公共施設等総合管理計画及び個別施設計画との整合性が求められる＝施設の統廃合、床面積の減少

② 幼保連携型認定こども園

	国庫	起債	実質負担額
保育園機能	施設整備事業（一般財源化分） 充当率 100% 交付税措置 70%	社会福祉施設整備事業 充当率 80% 交付税措置なし	390,475 千円
幼稚園機能	国庫補助金（補助率 1/3） 就学前教育・保育施設整備交付金	学校教育施設等整備事業 充当率 75% 交付税措置なし	

(4) 担当課の考え

上記（1）から（3）を踏まえ、移行に際して現場の保育士の負担が少ない保育所型認定こども園として整備を進めていきたいと考えます。

2 図面の見直しについて

(1) 収納スペースの確保

- ① トイレの上部に収納スペースを設け、製作用品や掃除用品などを収納
- ② 従前の収納スペースをステージ袖まで拡大し、運動用品等収納
ステージ下は収納スペースが不足した場合、小物等収納
- ③ 1階階段下に備蓄品などの防災用品やイベント関係用品等収納

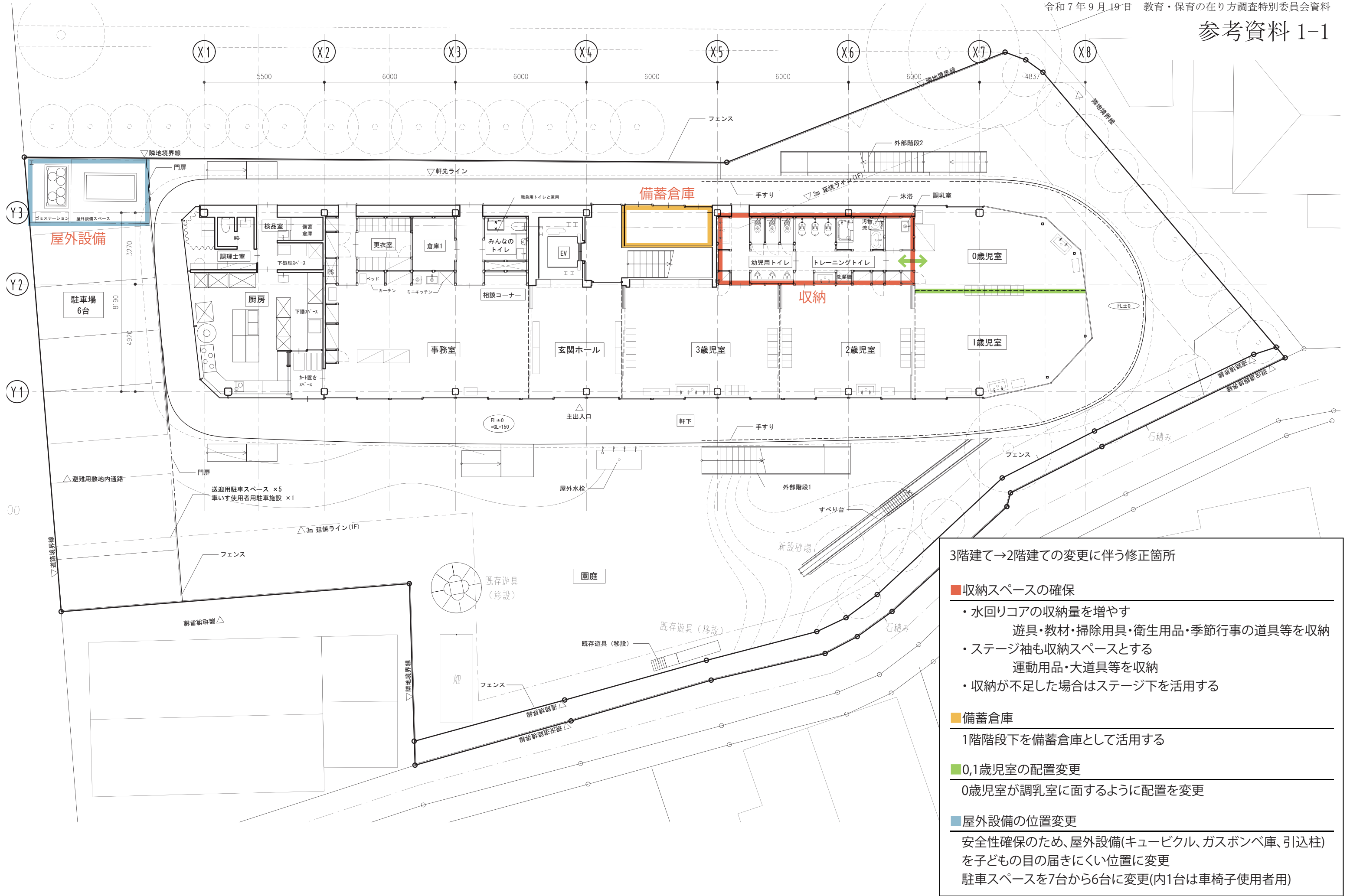
(2) 配置変更

0歳児室が調乳室に面するように0歳児室と1歳児室の配置の見直し

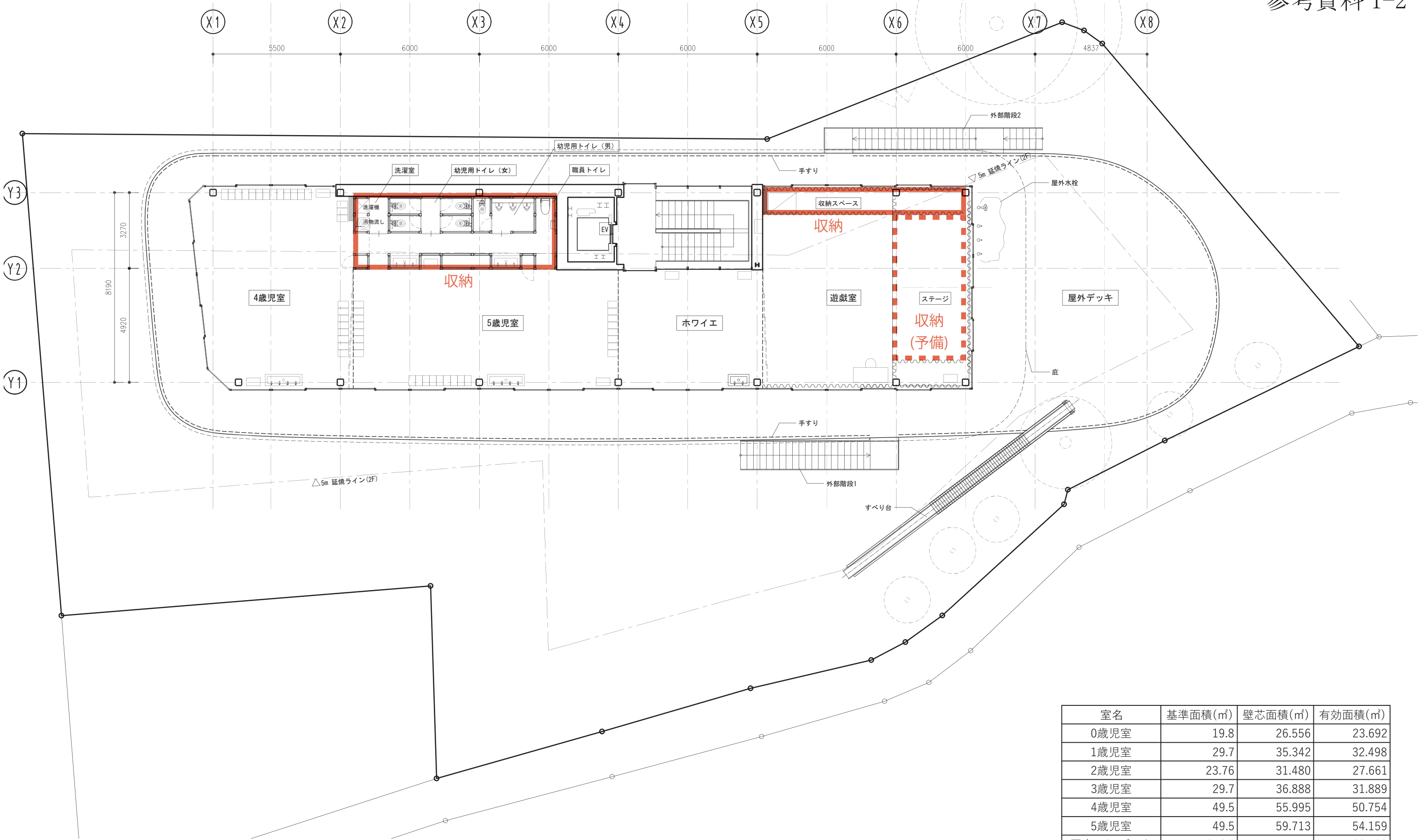
(3) 屋外設備の配置変更

- ① 屋外施設（キュービクル、ガスボンベ庫、）を子どもの目の届きにくい位置に変更
- ② 駐車場スペースを7台から6台に変更

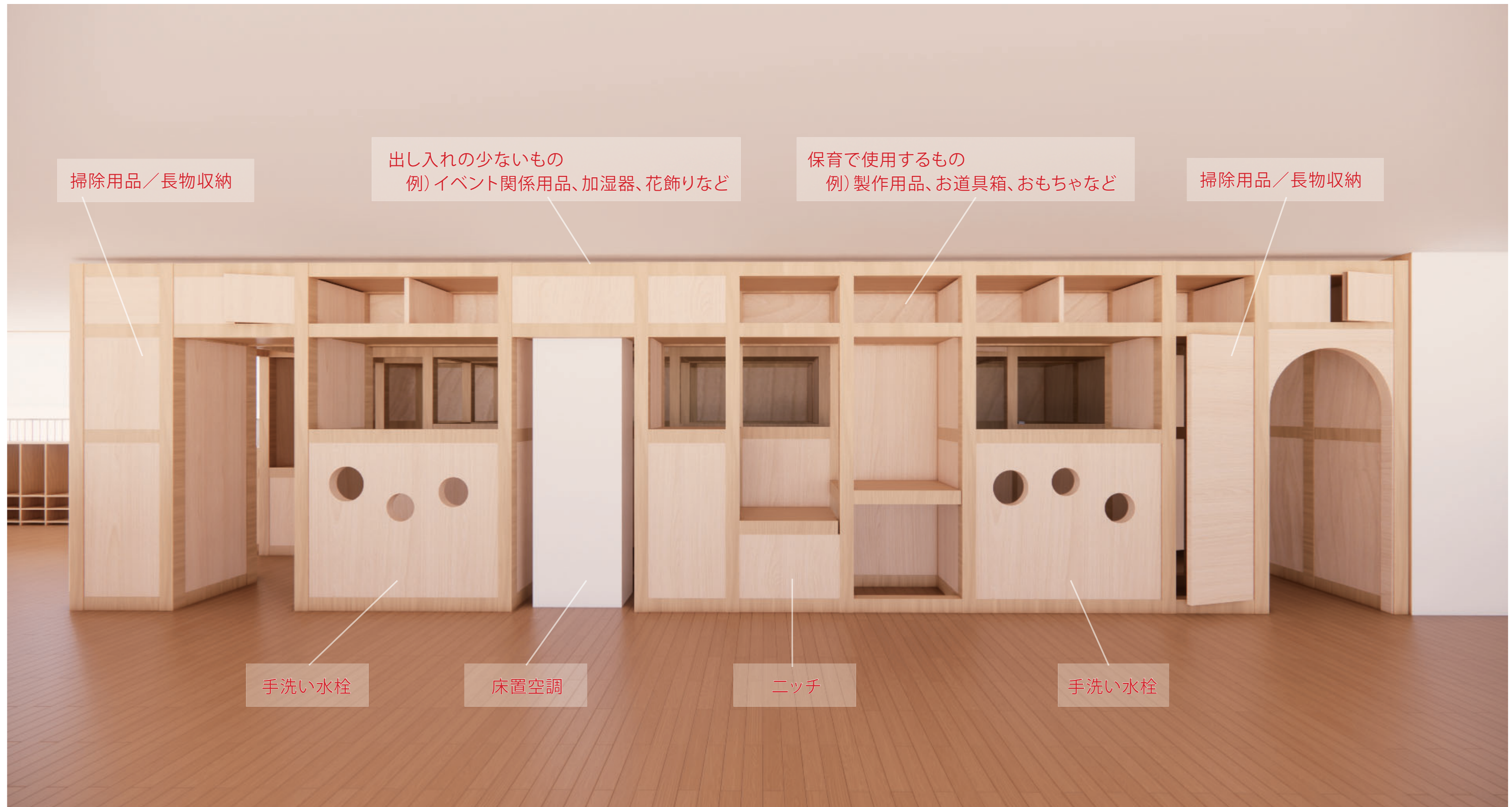
参考資料 1-1



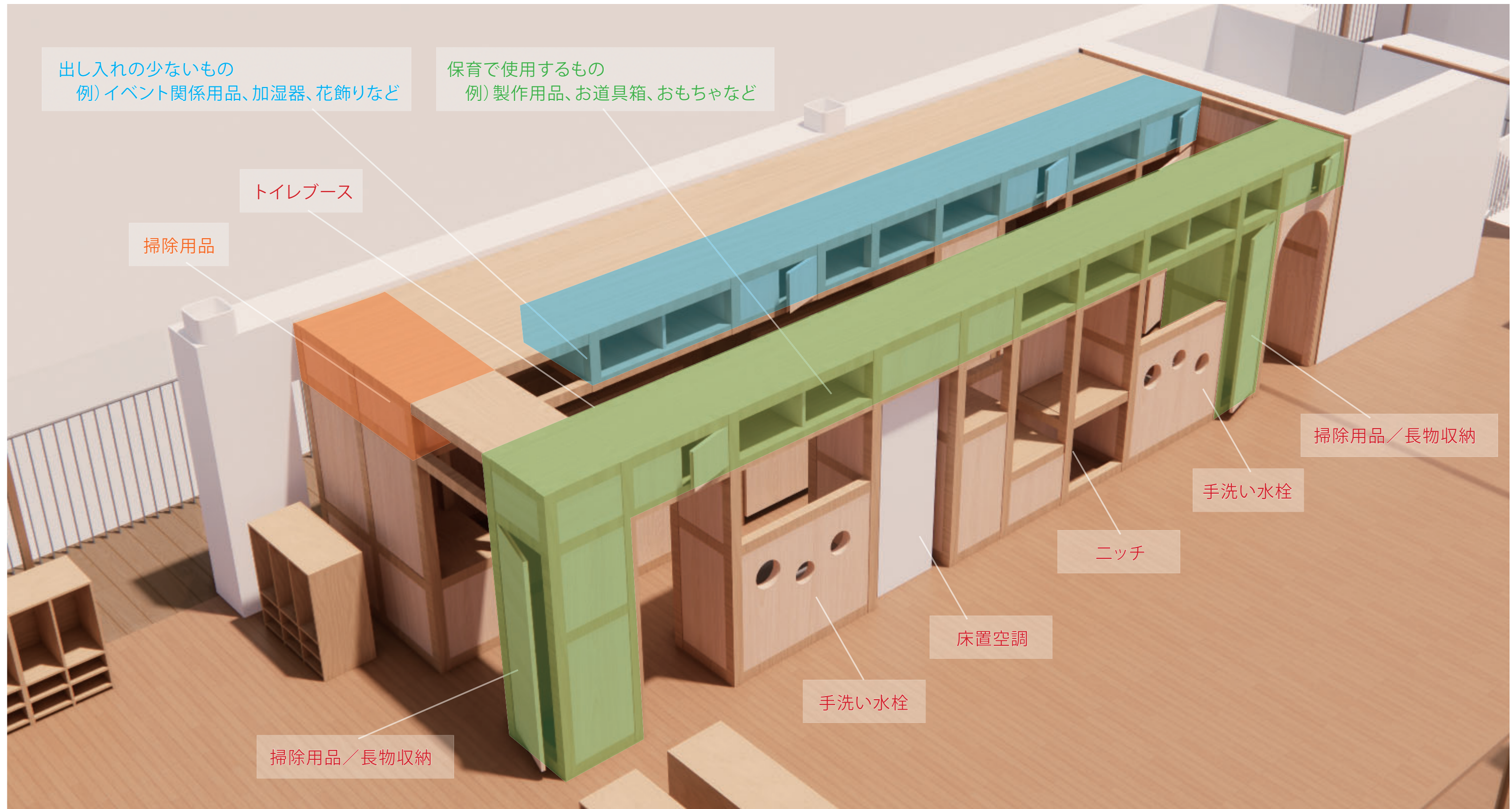
参考資料 1-2



参考資料 2-1



参考資料 2-2



参考資料 2-3

